

INFO-HIRO-21

第432号 2017年9月1日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

多国籍企業学会東西合同研究会のお知らせ

下記の通り、多国籍企業学会東西合同研究会（兼 西部部会9月例会）を開催いたします。学会員以外の方もご参加頂けます。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2017年9月9日（土）15:00～18:10（14:30開場）

場所：弘前大学創立50周年記念会館2階 岩木ホール

研究会プログラム

講演 15:05～15:50

ブナコ株式会社 代表取締役 倉田昌直氏

「地方独自の工芸品で海外展開～ブナコ株式会社の挑戦～」

第1報告 16:00～17:00（報告40分，質疑応答20分）

金崎賢希（青森公立大学）

「新興国企業の研究と国際ビジネスの理論

－企業特殊的優位と国家特殊的優位に関する伝統的理論の再検討」

第2報告 17:10～18:10（報告40分，質疑応答20分）

梅野巨利（大阪商業大学）

「インドにおける「2013年新会社法」とCSR活動の新展開」（仮）

18時30分～ 懇親会（会費 5000円）

主催 多国籍企業研究学会西部部会

対象 教職員，学生，一般

参加費 無料

事前申込 9月4日までに下記までお申し込みください。

問合せ先 弘前大学人文社会科学部グローバル経営研究室 担当 森樹男

電話0172-39-3295，メール mori@hirosaki-u.ac.jp

介助技術体験セミナー開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室では「介助技術体験セミナー」を開催します。

病気やけががあるいは身体障害により歩行や車椅子等での移動に困難を伴う学生や来校者が，学内での授業や行事等に困難なく参加するためには，施設整備に加えて学生や教職員による人的支援も必要です。

今回のセミナーでは，視覚障害者の歩行誘導と車椅子利用者の移動介助の技術を身につけます。

歩行・移動を支援する技術は社会においても大いに役立つ技術です。
多くの学生・教職員の皆さんの参加をお待ちしています。

記

- ◇日時： 9月27日（水）13：00～15：45
◇場所： 総合教育棟2階大会議室
◇対象： 本学の学生および教職員
◇内容： 13：00～14：30
第一部「視覚障害者に対する歩行誘導」
14：45～15：45
第二部「車椅子の操作と移動介助」
- ◇参加費： 無料
◇申込み： ①所属、②学籍番号、③氏名を明記の上、
9月22日までに下記アドレスへメールでお申込みください。
◇申込先： 弘前大学学生特別支援室（担当：三上）
TEL：0172-39-3266 FAX：0172-39-3119
E-mail：g-shien@hirosaki-u.ac.jp



「第17回青森糖質研究会」開催のお知らせ

「青森糖質研究会」は、青森県の糖質科学研究の振興と教育の向上、さらに産業の発展に寄与することを目的として平成9年に発足し、産学官の研究者や技術者をはじめとする多くの人の交流・親睦を深める勉強会を開催するなど、諸活動を続けております。

平成29年度は「新発想と新技術が生み出す糖質利用の新たな展開」をテーマに5講演が行われます。

1. 日時：平成29年10月6日（金） 13：30～17：45（受付開始12:30～）
2. 会場：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8階 八甲田ホール
（〒036-8560 青森県弘前市文京町3番地）
3. 対象：一般市民、弘前大学学生・大学院生・教職員、多数の参加をお待ちしております。
4. 講演：13：35～17：40
 - 1) **基調講演**「青森糖質研究会の20年を振り返って」
加藤 陽治（弘前大学 教育学部 食物学研究室）
 - 2) **新技術紹介**「天然物を利用した機能性材料の開発
—セルロースの燃料電池用電解質膜への応用—」
葛西 裕（（地独）青森県産業技術センター 工業総合研究所 新エネルギー技術部）
 - 3) 「食品の網羅解析から見えてくる産業発展の糸口～青森短命県を打破する最強の手法～」
溝口 祥子（ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ（株））
 - 4) 「セルロースを分解する酵素の基礎から応用まで」
野崎 功一（信州大学 学術研究院工学系）
 - 5) **日本応用糖質科学会 技術開発賞受賞記念**
「プラスチック成形と逆転の発想の融合により実現した米粉100%による製パン技術の開発」
西岡 昭博（山形大学大学院 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻）

5. 参加費： 無料
6. 主催：青森糖質研究会（会長 加藤 陽治）
共催：ひろさき産学官連携フォーラム，日本応用糖質科学会東北支部
後援：（公財）水谷糖質科学振興財団
7. 申込方法：下記問い合わせ先へお申し込みください。＊当日参加も歓迎いたします。
8. URL：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm>

※研究会終了後（18：00～20：00），弘前大学生協 レストラン・スクーラム(大学会館2階)にて交流会を行います。当日参加も受け付けております。
（会費 一般：3,000円，学生：1,000円）

問い合わせ先： 青森糖質研究会事務局
弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター
糖鎖工学講座内 担当：柿崎 育子
電話：0172-39-5542
E-mail：kaki@hirosaki-u.ac.jp

**保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会主催 第2回放射線看護セミナー
「放射線診療における看護に必要な基礎知識」開催のお知らせ**

本研究科では、平成27年4月より「放射線看護高度看護実践コース」を博士前期課程に開設，教育を開始し，平成29年2月には日本看護系大学協議会からCNSの放射線看護専攻教育課程の認定を受けました。放射線や放射線防護に関する専門的知識を基盤とし，放射線診療，被ばく医療看護に関して高度な看護実践ができる人材育成を目指しております。

近年，放射線を用いる検査及び治療はますます高度化・専門分化し，放射線診療の適応範囲は年々拡大しています。看護師は臨床の様々な場で放射線診療を受ける患者の看護に携わっていますが，看護基礎教育や卒業後の継続教育においても，放射線に関する学習の機会には多くはありません。第2回となる今回のセミナーでは，放射線看護に携わる看護師のために放射線の防護に役立つ内容や臨床に結びつくような放射線の情報を提供するとともに，放射線診療において看護師が気をつけたいこと，看護師の役割についての理解を深めることを目的としています。教育内容についての紹介も行います。



- 日時：平成29年10月7日（土）13時30分～16時10分（質疑応答を含む）
- 場所：東京工業大学キャンパスイノベーションセンター（CIC東京）1階 国際会議室（東京都港区芝浦3-3-6）
- テーマ：「放射線診療における看護に必要な基礎知識」
- 対象：放射線看護に興味・関心のある医療職者（先着80名程度）
※申込先着順で定員に達し次第，申し込み受付終了とさせていただきます。
- プログラム：
 - 13:30～13:35 開会の挨拶
 - 13:35～14:35 教育講演1● 看護に役立つ「放射線・放射線防護の基礎」
弘前大学大学院保健学研究科 助教 寺島 真悟 先生

- 14:35～14:45 休憩
14:45～15:45 教育講演2● 看護師のための「放射線診療と看護」
東京放射線クリニック 院長 柏原 賢一 先生
15:45～16:00 放射線看護高度看護実践コースの教育について
弘前大学大学院保健学研究科 教授 野戸 結花 先生
16:00～16:10 閉会の挨拶

6. 参加費： 無料

7. 申し込み方法： Eメールによる事前申し込みとなります。

●下記URLから申し込み手続きを行ってください。

- ・被ばく医療人材育成推進プロジェクトHP <http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibakupj/>
- ・お申し込み先メールアドレス：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

8. 申し込み締切： 平成29年9月25日（月）

9. 主催： 弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

10. お問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当：桑田，柏村）
電話：0172-39-5518 FAX：0172-39-5912
E-mail：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2017開催のお知らせ

国立大学法人弘前大学と青森県、弘前市は、2017年10月20日（金）に、「弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2017」を一橋講堂（東京都千代田区）で開催することとなりましたので、お知らせいたします。

本フォーラムでは、弘前大学COI拠点がめざす「健やかに老いる社会」の実現と、ひいては国民の健康寿命延伸とQOL（生活の質）・GNH（幸福度）の向上をめざし、世界最大級の超多項目2000健康ビッグデータを活用したAI等、最先端研究成果等を紹介します。さらに、これらを活用した新たな健康産業創出・社会実装のあり方などを各界の第一線で活躍する産学官民関係者が結集して、熱く議論します。

●今回の目玉企画は、協和発酵バイオ株式会社 代表取締役社長 小谷近之氏をゲスト講師に迎えて行う特別講演です。「発酵技術で健康をイノベする（仮）」と題して、小谷社長にご講演いただきます。

●そして長野オリンピック金メダリスト 元スピードスケート選手 清水宏保氏 をゲストに「スポーツ医科学と健康（仮）」と題し、ご発表いただきます。

●昨年のフォーラムでも大好評を博した、著名な料理研究家 浜内千波先生に今回もご講演いただきます。題「健康で笑顔のある毎日は食生活から（仮）」。

他にも盛りだくさんの内容でお送りいたします。ご期待ください。

文部科学省・JSTが実施する研究支援事業「COI（センター・オブ・イノベーション）」は、日本に真のイノベーションをもたらす国家的プロジェクトとして期待されています。

ご多忙とは存じますが、本フォーラムにご参加いただき、弘前大学COIのみならずCOI事業全体へのご理解を深めていただければ幸いです。

●お申込は、以下項目①～⑧をご記入の上、メールまたはFAXをお送りください。

- ①会社名・団体名
- ②TEL
- ③FAX
- ④E-mail
- ⑤部署名
- ⑥役職名
- ⑦参加者氏名（フリガナ）
- ⑧交流会（参加・不参加）

※交流会費は3,000円程度を予定。

※交流会の当日キャンセルは、キャンセル料が発生する場合がございます。ご了承ください。

送信先： COI研究推進機構 宛
 メール：coi_info@hirosaki-u.ac.jp
 FAX： 0172-39-5205



弘前大学大学院保健学研究科 “福島災害医療セミナー in 弘前2017” 開催のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会 被ばく医療教育研修部門では、福島県立医科大学災害医療総合学習センター、青森県診療放射線技師会との共催による“福島災害医療セミナー in 弘前2017”を開催いたします。

被ばく医療への取り組みにおいては、福島の実情を知ること重要と思われれますので、多数の方々にご参加いただき知識や理解を深めていただければと思います。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 開催期間： 平成 29 年 10 月 21 日（土）～10 月 22 日（日）
2. 開催場所： 弘前大学大学院保健学研究科
 （青森県弘前市本町66-1）
3. 募集人員： 医師，診療放射線技師，看護師等（20名程度）※受講無料
4. プログラム：
 - ◆10月21日（土）
 - 13:00 - 13:50 ①福島の震災（50分）
 - 14:00 - 17:30 ②放射線の影響と現状（180分）
 - ◆10月22日（日）
 - 08:30 - 10:00 ③住民相談にどう臨むかを考えるグループワーク（90分）
 - 10:10 - 11:40 ④模擬相談演習（90分）
 - 11:50 - 13:00 ⑤リスクミ特論（70分）

※このほかe-learning による事前学習を受講していただきます。

5. 申し込み方法：
 - ◆事前申込制となります。
 - 下記の必要事項（①～④）を明記のうえ、Eメールにてお申込みください。
 - 【申し込み先】 弘前大学保健学研究科 総務グループ 担当：桑田
kuwata@hirosaki-u.ac.jp
 - 【必要事項】 ①氏名 ②氏名フリガナ ③所属機関 ④職種
 - 【締め切り】 10月6日（金）



6. 共催： 福島県立医科大学 災害医療総合学習センター
青森県診療放射線技師会
弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

7. 問い合わせ先：

弘前大学保健学研究科 総務グループ 桑田

e-mail：kuwata@hirosaki-u.ac.jp Tel：0172-39-5518 Fax：0172-39-5912

**平成29年度 弘前大学大学院保健学研究科
市民公開講座「足の科学からみたスポーツ障害の予防」開催のお知らせ**

足は万病のもとといえます。スポーツでけがをしては、せっかく鍛えた成果を充分出せずに終わってしまいます。特に足はどのようなスポーツでも基本になるものです。そこで、足の機能や形態について科学的見地からスポーツ時の障害予防について講師がわかりやすく説明します。また、足の健康について実際に足部計測して相談にのります。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

【日 時】平成29年10月28日（土）
10：00～11：30

【場 所】弘前大学50周年記念会館
岩木ホールAB（弘前市文京町1）

【対 象】一般市民，スポーツ指導者，運動部員，保護者等

【参加費】無料（事前申し込み不要）

【内 容】

講演「足の科学からみたスポーツ障害の予防」

講師：弘前大学大学院保健学研究科 教授 尾田 敦
足の健康相談コーナー

【主 催】弘前大学大学院保健学研究科

【お問い合わせ先】

弘前大学大学院保健学研究科総務グループ

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

TEL：0172-39-5905 E-mail：jm5905@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学資料館第16回企画展について

弘前大学資料館では第16回企画展「白神山地の豊かな自然とその変化」を9月4日より10月21日まで開催いたします。

白神自然環境研究所のこれまでの調査研究で得られた標本や写真を元に、白神の豊かな自然を紹介したうえで、最近顕在化しつつある自然の変化を示し、自然保護の必要性、難しさ、あり方などを考える展示となります。みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第16回企画展

「白神山地の豊かな自然とその変化」

会 期：2017年9月4日（月）～ 10月21日（土）（日・祝・休日は休館）



時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

- ・弘前大学資料館 電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp
- ・弘前大学白神自然環境研究所 准教授 中村剛之
電話：0172-39-3707 E-mail：dhalma@hirosaki-u.ac.jp

「2017年 北東北女性研究者 研究・交流フェア」開催のお知らせ（再掲）

文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」の事業の一環として、北東北地域の女性研究者の研究シーズ発信や相互交流・ネットワーク構築の場の提供及び当該地域の女性研究者による共同研究グループの立ち上げや共同研究への参画等の研究活動の活性化を図ることを目的とした「2017年 北東北女性研究者 研究・交流フェア」を下記のとおり開催いたします。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



記

◇日 時：2017年9月15日（金）12時30分～16時30分

◇会 場：弘前駅前公共施設ヒロロスクエア

3階イベントスペース，4階市民文化交流館ホール
（青森県弘前市駅前町9-20）

◇プログラム：

- 12時30分～12時40分 オープニングセレモニー
- 12時40分～13時40分 共同研究紹介・発表
- 13時40分～14時40分 ポスターセッション
（ポスターの種別：共同研究，一般研究，機関紹介）
- 14時40分～14時55分 休憩
- 14時55分～16時15分 ロールモデル講演会（2講演各30分，質疑応答20分）
講師：
青山 千春 氏
（東京海洋大学海洋資源エネルギー学部門 准教授）
松八重 一代 氏
（東北大学大学院環境科学研究科 教授）
- 16時15分～16時30分 クロージングセレモニー

◇主 催：弘前大学，北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議

◇対 象：北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議 構成機関の方々，あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク（仮称）構成機関の方々，テーマに関心のある方

◇定 員：100名

◇参加費：無料

◇申込方法：9月5日（火）までに，件名を「9/15交流フェア参加希望」とし，①名前，②所属，③役職，④連絡先（メールアドレスと電話番号）を添えてメールまたはファックスで事前に申し込んでください。定員に余裕がある場合は，当日参加も歓迎します。

申込時にいただいた情報は，本事業以外に使用しません。

◇主 催：弘前大学，北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議

◇申込先：弘前大学男女共同参画推進室

メールequality@hirosaki-u.ac.jp 電話0172-39-3888

ファックス0172-39-3889

※参照URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/4900.html>

機器分析センター「質量分析計」セミナー開催のお知らせ（再掲）

機器分析センターでは、「質量分析計」に関するセミナーを開催します。

物質科学および生命科学分野での研究において、質量分析計は極めて重要な役割を担っており、本学機器分析センターにおいても基盤となる機器といえます。質量分析計の適用範囲は、有機・無機化合物からタンパク質、ペプチドなど生体関連物質の分析まで広がっています。本セミナーでは質量分析計の基礎（イオン化法、アナライザーの種類など）から応用まで取り扱いますので、皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

- ◇ 日 時 平成29年9月27日（水）10:00～12:00
- ◇ 場 所 弘前大学理工学部2号館2階11番講義室
- ◇ 講 師 日本ウォーターズ株式会社マーケットディベロップメント マネージャー
長瀬 勝敏 様
- ◇ 対 象 教職員，学生，一般の方
- ◇ 参加費 無料
- ◇ 申 込 9月25日（月）までに、件名を「9/27セミナー参加希望」とし①名前、
②所属、③役職、④連絡先（電話番号）を添えてメールにてお申込み
ください。座席に余裕がある場合は、当日参加も歓迎します。

◇ プログラム（いずれか一部のみでもご参加いただけます。）

	時 間	内 容
第1部	10:00～10:50	○ 質量分析の基礎 質量分析法におけるイオン化法，質量分析メカニズム，データ取得・解析に関して解説する。
第2部	11:00～12:00	○ 質量分析計の実際と応用 質量分析計を選択する視点とその応用について解説する。

- ◇ 担 当 研究推進課 機器分析センター担当（0172-39-3913）
E-mail: kiki@hirosaki-u.ac.jp

第19回家庭でできる看護ケア教室開催のお知らせ（再掲）

弘前大学医学部附属病院看護部主催で、市民の方を対象に、第19回家庭でできる看護ケア教室を開催します。

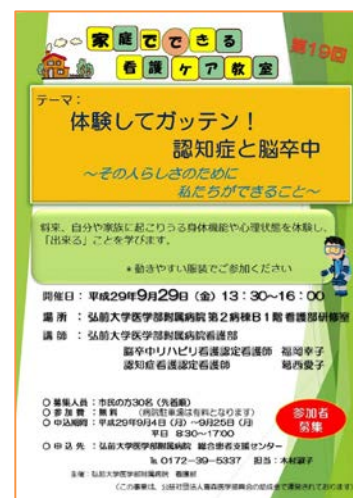
毎年テーマを替えて開催しており、今回のテーマは、「体験してガッテン！認知症と脳卒中～その人らしさのために私たちができること～」です。

将来、自分や家族に起こりうる身体機能や心理状態を体験し、「出来る」ことを学びます。

なお、開催当日は、動きやすい服装でご参加ください。

たくさんのご参加をお待ちいたしております。

1. 日 時 : 平成29年9月29日（金）13:30～16:00
2. 場 所 : 弘前大学医学部附属病院 看護部研修室
3. 募集人員 : 市民の方30名（先着順）
4. 参加費 : 無料



5. 申込期間 : 平成29年9月4日(月)～9月25日(月)
平日 8:30～17:00

6. 申込先 : 弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター
TEL 0172-39-5337 担当: 木村 淑子

**平成29年度 文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」
「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」開催のお知らせ(再掲)**

この研修は看護教育に係る教員に放射線の知識を深めていただくために開催するものです。将来的には患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に係わる看護職に、放射線に関する知識・技術を修得していただくことを目的としています。講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定するなどの演習を行い、放射線を身近に分かりやすく理解できるようにしています。看護職の方も受講できます。



【日時】 ●第7回トレーナーズトレーニング
平成29年10月21日(土), 22日(日)

【場所】弘前大学大学院保健学研究科(青森県弘前市本町66番地1)

【テーマ】「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」

【対象】主に看護教育に係わる教育機関の先生方。看護職の方も受講できます。(先着20名)
※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。

【スケジュール】1日目: 13時00分～17時30分

≪講義≫①放射線利用における看護職の役割

②原子力・放射線利用の概要及び放射線の基礎

③放射線による健康影響とリスク

※1日目終了後に参加者と指導者による情報交換会を予定しております。

2日目: 9時00分～13時00分

≪実習≫①自然放射線の理解

放射線測定器を用いた放射線測定と霧箱による放射線の観察

②外部被ばくに対する防護方策

放射線防護の基本となる事項(時間, 遮蔽, 距離)

③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策

撮影現場における線量の把握

注) 予定時間より延びることがあります。あらかじめご了承ください。

【受講料】無料

「看護と放射線－放射線を正しく理解する」日本アイソトープ協会刊(2016)をテキストとして無料配布します。

【申込方法】Web参加登録 Eメールによる事前申し込みとなります。

●下記URLから申し込み手続きを行ってください。

公益社団法人日本アイソトープ協会 <http://www.jrias.or.jp/>

【主催】公益社団法人日本アイソトープ協会

【協賛】弘前大学大学院保健学研究科

*本事業は、公益社団法人日本アイソトープ協会が、文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業(原子力人材育成等推進事業費補助金)」として3ヶ年計画(平成28年度～平成30年度)で実施しています。

【お問い合わせ先】 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）
電話：0172-39-5518 E-mail：kashimura-a@hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

Radiation Environment and Medicine 編集委員会 編「Radiation Environment and Medicine Vol.6 No.2」（A4変形判・63頁，定価1,188円：税込）を出版しました。

～紹介文～

弘前大学は、さまざまな原子力関連施設が立地する青森県における唯一の総合大学として、万が一の事態に際して地域の安心・安全を確保するため、被ばく医療に関連する取組みを平成20年度から推進してきており、平成27年8月には原子力規制委員会から原子力災害医療に対応する施設として「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」の指定を受けるに至りました。これに合わせて弘前大学放射線安全推進会議の下に「放射線安全総合支援センター」が設置されました。

これまでの弘前大学による被ばく医療関連の人材育成事業の一環として平成24年3月に刊行を開始した被ばく医療に関する学術誌 Radiation Emergency Medicineは、第5巻1号から、より広い分野からの投稿に対応する目的で、誌名をRadiation Environment and Medicineに改めました。

第6巻2号には、放射線計測・線量評価・放射線看護等の領域における6報の論文に加えてOffice of Radiation Protection and Environmental Monitoring, Environmental Protection Agency（アイルランド）のKevin Kelleher先生，McGill University（カナダ）のJohn Kildea先生による特別寄稿論文が掲載されています。

今後も、放射線防護，線量評価，生物影響，放射線計測，被ばく医療教育，放射化学分析，放射線看護，疫学調査，臨床研究など放射線科学の幅広い分野にわたる論文を掲載していく予定です。

皆様からの投稿をお待ちしております。※本誌は英文表記となります。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。



国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学会が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第45号」では、「今、学生は！」において、本学・人文学部金融論ゼミ「日銀グランプリ」2年連続決勝進出の快挙が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第45号」

<http://www.janu.jp/report/koho/45gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029